

三角関数の合成

$a \sin \theta + b \cos \theta$ のように、2種類の三角関数の混ざった式は、 \sin だけを用いた式に直すことができる。この変形を三角関数の**合成**という。

例 1 $\sin \theta + \sqrt{3} \cos \theta$

与式は

$$1 \cdot \sin \theta + \sqrt{3} \cdot \cos \theta \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

と見ることができるが、これは加法定理の右辺

$$\cos \alpha \cdot \sin \theta + \sin \alpha \cdot \cos \theta$$

に形が似ている。

そこで、1と $\sqrt{3}$ の部分が $\cos \alpha$ 、 $\sin \alpha$ となるように変形しよう。①の式から強引に2*をくくり出すと

$$\begin{aligned} & 2\left(\frac{1}{2} \sin \theta + \frac{\sqrt{3}}{2} \cos \theta\right) \\ &= 2(\cos \frac{\quad}{\quad}^\circ \sin \theta + \sin \frac{\quad}{\quad}^\circ \cos \theta) \\ &= 2 \sin(\theta + \frac{\quad}{\quad}^\circ) \end{aligned}$$

と合成できる。

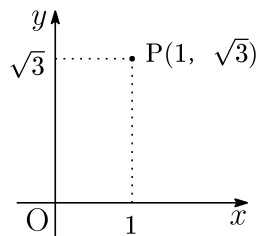
合成を行う機械的な手順

式を合成するときは、次のような手順を用いると早くできる。

例 2 $\sin \theta + \sqrt{3} \cos \theta$

① \sin 、 \cos の係数を組にする。…… (1, $\sqrt{3}$)

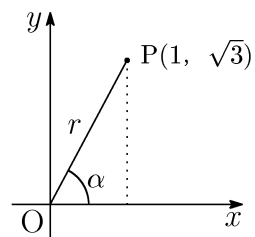
② 上の数字の組を座標だと思って、座標平面上にとる (点Pと名付けておく)。



③ OPの長さ r と、OPの表す角 α を求める。

$$r^2 = 1^2 + \sqrt{3}^2 \text{ より } r = 2$$

$$1 : 2 : \sqrt{3} \text{ の比の直角三角形より } \alpha = 60^\circ$$

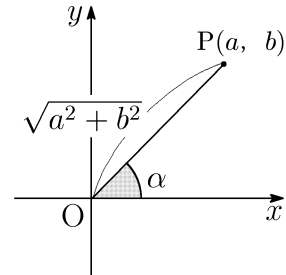


④ ③で求めた r, α を, $r \sin(\theta + \alpha)$ に代入して完成。 …… $2 \sin(\theta + 60^\circ)$

$$\therefore \sin \theta + \sqrt{3} \cos \theta = 2 \sin(\theta + 60^\circ)$$

● **重要** 三角関数の合成 ●

$$a \sin \theta + b \cos \theta = \sqrt{a^2 + b^2} \sin(\theta + \alpha)$$



ただし, α は, $\sin \alpha = \frac{b}{\sqrt{a^2 + b^2}}, \cos \alpha = \frac{a}{\sqrt{a^2 + b^2}}$ を満たす角。

例題 1 次の式を $r \sin(\theta + \alpha)$ の形に変形せよ。

(吉教科書 p.76 問 12)

- | | |
|--|---|
| (1) $\sin \theta + \cos \theta$ | (2) $-\sqrt{3} \sin \theta + \cos \theta$ |
| (3) $\sqrt{3} \sin \theta + \cos \theta$ | (4) $3 \sin \theta + 4 \cos \theta$ |

例題 2 次の関数の最大値と最小値を求めよ。

(吉教科書 p.76 例題 5)

$$y = \sqrt{3} \sin \theta + \cos \theta \quad (0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ)$$